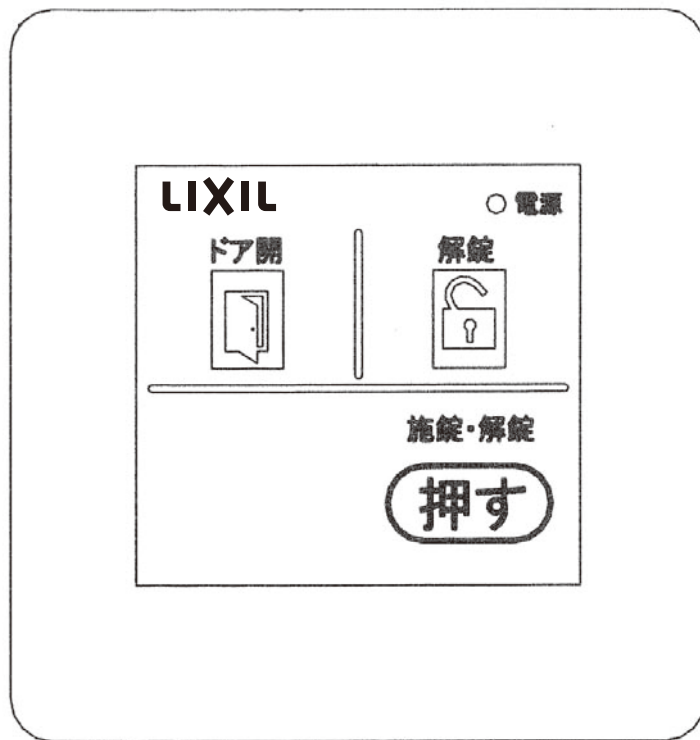


玄関用電気錠 システムベーシック

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

目次

■重要なお知らせ	1
■警告用語の種類と意味	1
■特に注意していただきたいこと	2
■リモコンシステム概要	3
■各部の名称とはたらき	4~5
■操作方法	6~9
■外観寸法図	10~11
■定格	12
■お手入れについて	13
■故障かな?と思ったら	13~14
■アフターメンテナンスについて	15
■商品保証について	16



重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のため、必ずお守りください。



「玄関戸用電気錠システムベーシック」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。もしこの取扱い説明書にしたがわず、乱用または誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、株式会社 LIXIL およびその販売会社に責任はないものといたします。

1. この取扱い説明書に記載してある注意事項が、すべての危険を含んでいるわけではありません。したがって、「玄関戸用電気錠システムベーシック」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
3. この取扱い説明書についての質問又はより詳しい情報が必要な場合は、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	 0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では「玄関戸用電気錠システムベーシック」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。この「取扱い説明書」では、危険度（または事故の大きさ）にしたがって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意味
 警告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障等につながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

⚠ 警告

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 傷ついた電源コードは使用しないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。
- 機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。
- 機器に液体（水、ジュース、薬品など）が入ったり、ぬらさないようにしてください。火災、感電の原因となります。
- 電源プラグの部分にほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。
- 仕様に表記された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- 機器内部には高電圧がかかっている部分があります。本体を開けないでください。感電の原因となります。

お願い

- 屋内専用です。屋外では使用できません。
- 停電時には使用できません。
- 次の場所での設置は避けてください。故障の原因となることがあります。
- 落雷による影響で機能障害がおきる場合があります。
- 放送局などアンテナに近接する地域では、放送が混入する場合があります。
- 壁掛け使用時、上面が黒くすすける場合がありますが、故障ではありません。
- OA 機器、テレビ、ラジオなどの近くで使用しますと電波に影響をおよぼしたり雑音が入ったりしますので、使用場所に注意してください。
- 携帯電話機を近接する場所で使用すると、誤作動の原因となることがあります。

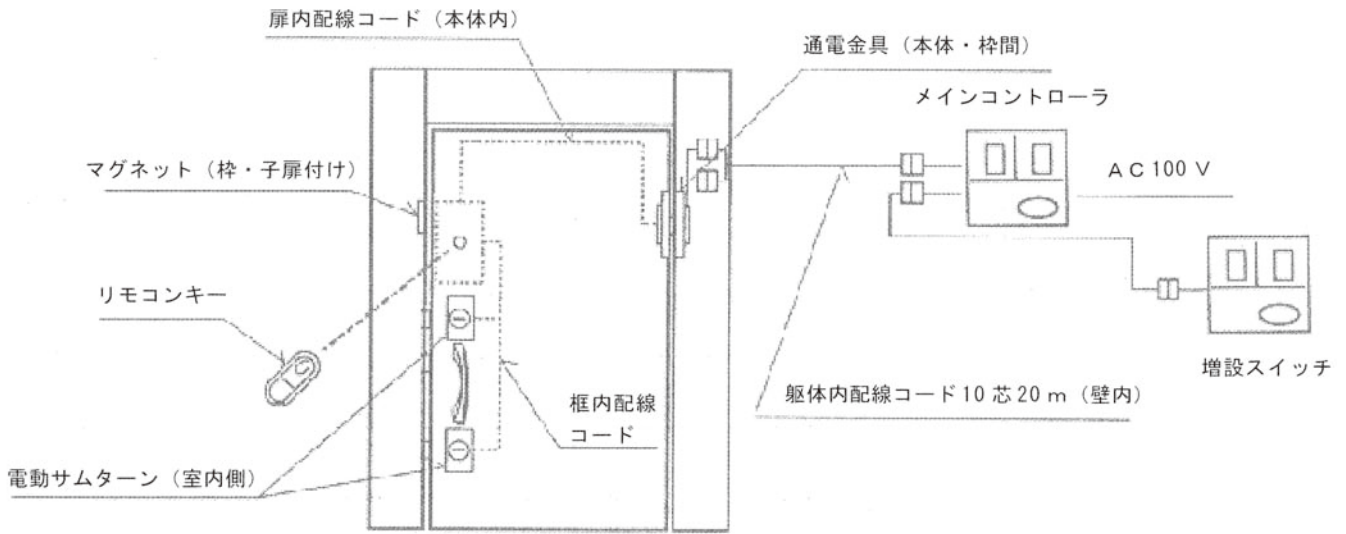
■停電になったときの状態

- リモコン操作による施解錠はできません。カギ、サムターンで操作してください。
- カギ、サムターンで操作するまでは、電気錠は停電前の状態のままです。
- 電源が復帰しても、電気錠は停電前のままです。
- 停電復帰後、1 回目のリモコン操作では施解錠しません。2 回目の操作から正常動作します。

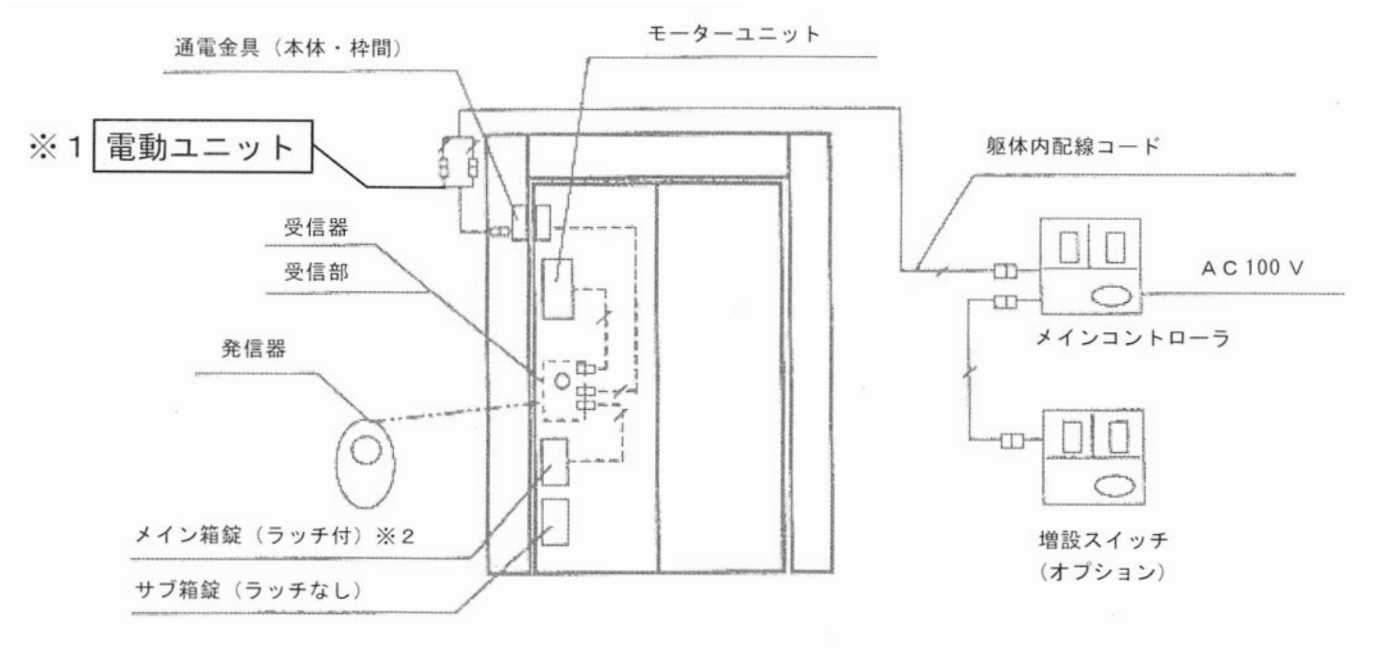
リモコンシステム概要

システム全体の名称

A. 玄関ドアの場合



B. 玄関引戸の場合



※1 電動引戸の場合のみ

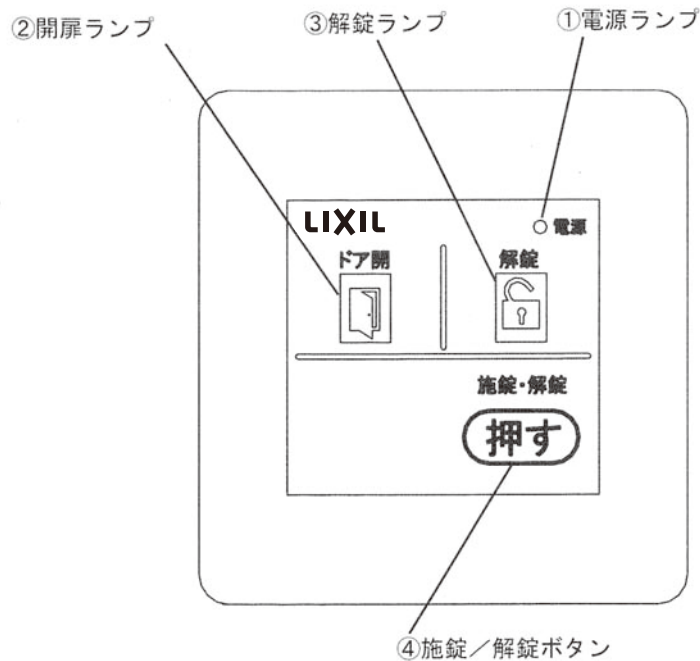
電動ユニットの接続は寺岡オートドア(株)にて責任施工となります。

※2 電動引戸の場合はラッチなしとなります。

各部の名称とはたらき

1

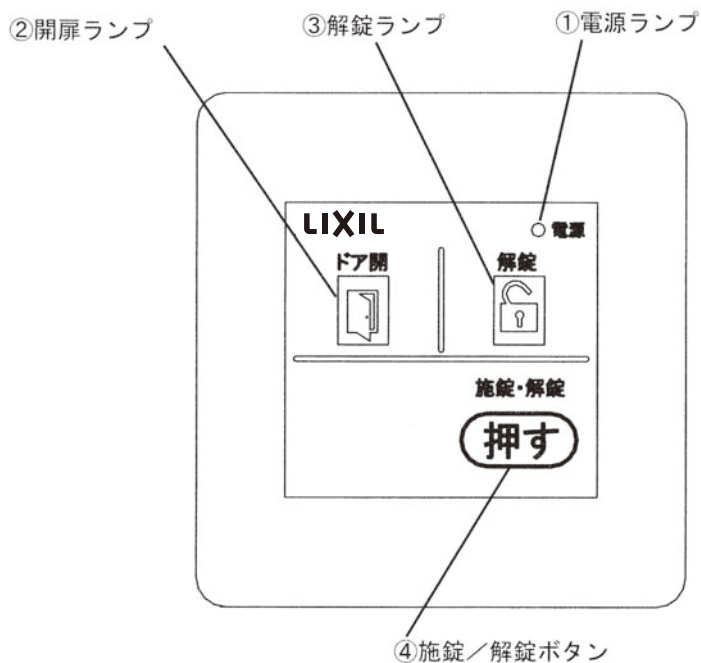
メインコントローラ



メインコントローラ

	名 称	操 作・表 示
①	電源ランプ	電源が入っている時に点灯します。
②	開扉ランプ	扉が開いている時に点灯します。
③	解錠ランプ	扉が解錠されている時に点灯します。
④	施錠／解錠ボタン	扉を施錠・解錠する時に押します。

※開扉ランプが点灯している場合は、施錠／解錠の操作はできません。



増設スイッチ

	名 称	操 作・表 示
①	電源ランプ	電源が入っている時に点灯します。
②	開扉ランプ	扉が開いている時に点灯します。
③	解錠ランプ	扉が解錠されている時に点灯します。
④	施錠／解錠ボタン	扉を施錠・解錠する時に押します。

※開扉ランプが点灯している場合は、施錠／解錠の操作はできません。

操作方法

1




メインコントローラからの操作

A. 解錠ボタンによる操作

操作手順	操作前	施解錠ボタンを押す 施錠・解錠 押す	扉を開ける ※電動引戸の場合 自動開扉	扉を閉める ※電動引戸の場合 自動閉扉
表示の 状態	 	解錠ランプ (赤色で点灯)  	ドア開ランプ・解錠ランプ (赤色で点灯)  	ドア開ランプ・ 解錠ランプ消灯  
電気錠の 状態	施錠	解錠	解錠	扉を閉めると自動的に施錠

- メインロック・サブロックは連動して作動しますが、解錠ランプはメインロックの状態を表示している為、手動で操作した場合、サブロックが施錠状態でも解錠ランプが点灯します。
- 解錠操作をして30秒以上扉を開け放したとき→『ピー』という警告音が扉を閉めるまで鳴り続けます。

B. 手動で解錠したときの施錠操作

操作手順	操作前	施解錠ボタンを押す 施錠・解錠 押す
表示の 状態	解錠ランプ (赤色で点灯)  	解錠ランプ消灯  
電気錠の 状態	解錠	施錠

停電になったときの状態

- 電源ランプが消灯します。
- リモコン操作による施錠／解錠はできません。キーまたはサムターンで操作してください。
- キーまたはサムターンで操作するまでは、電気錠は停電前のままです。
- 電源が復帰してもドアの状態は停電前の状態のままです。

C. 警報機能について

メインコントローラから警告音が鳴る場合は以下の原因が考えられます。

①メインコントローラで解錠し、扉を 30 秒以上開け放した場合

- 『ピー』という警告音が鳴る → 扉を最後まで閉めてください。

②メインロックが施錠できない場合

- 枠と扉の間に異物（小石等）がはさまって
扉が最後まで閉まらない → 異物を取除いてから
扉を最後まで閉めてください。
- ストライクの穴に異物が入っている → 異物を取除いてから
扉を最後まで閉めてください。
- 枠・扉の取付け（建付け）の不具合で
扉が最後まで閉まらない → 施工業者様にお問い合わせください。
- ストライクの取付け位置が正しくない → 施工業者様にお問い合わせください。

このような状態で遠隔操作をしようとするとき、『ピー』という警告音が鳴ります。

警告音の止め方

施錠ボタンを押せば、警告音は鳴り止みます。

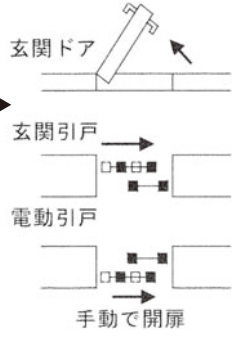
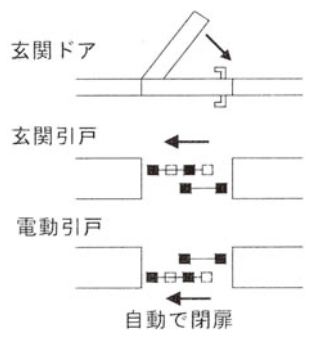
施錠・解錠

押す

2

手動の解錠と扉の開閉操作

サムターンからの操作

操作手順	操作前	鍵、サムターンで 電気錠を解錠する	扉を開ける 	扉を閉める 
	電気錠の 状態	施錠	解錠	解錠

- 再び施錠するには鍵・サムターンを回してください。（リモコンキー・メインコントローラでも施錠できます。）

- 鍵・サムターンで解錠すると、扉を閉めても自動施錠されず、解錠のままとなります。

3




増設スイッチの操作

A. 解錠ボタンによる操作

操作手順	操作前	施解錠ボタンを押す 施錠・解錠 押す	扉を開ける ※電動引戸の場合 自動開扉	扉を閉める ※電動引戸の場合 自動閉扉
表示の 状態	 	解錠ランプ (赤色で点灯)  	ドア開ランプ・解錠ランプ (赤色で点灯)  	ドア開ランプ・ 解錠ランプ消灯  
電気錠の 状態	施錠	解錠	解錠	扉を閉めると自動的に施錠

- メインロック・サブロックは連動して作動しますが、解錠ランプはメインロックの状態を表示している為、手動で操作した場合、サブロックが施錠状態でも解錠ランプが点灯します。
- 解錠操作をして30秒以上扉を開け放したとき→『ピー』という警告音が扉を閉めるまで鳴り続けます。

B. 手動で解錠したときの施錠操作

操作手順	操作前	施解錠ボタンを押す 施錠・解錠 押す
表示の 状態	解錠ランプ (赤色で点灯)  	解錠ランプ消灯  
電気錠の 状態	解錠	施錠

4

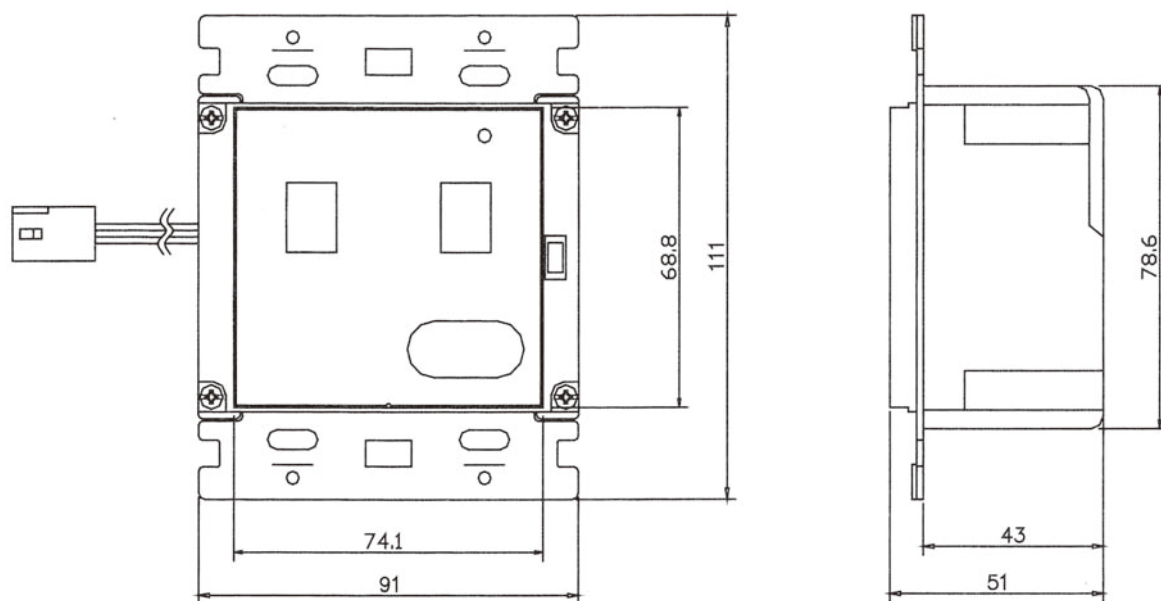
電動引戸の場合の留意事項

- 電動引戸は解錠後に自動で扉が開き、開状態で一旦停止した後、扉が自動で閉まります。扉が閉まれば自動施錠します。
- 閉まりかけた扉にぶつかってしまうおそれがありますので、扉を開けた状態で来訪者と立ち話し等をされることはお止めください。
- 扉が自動で開きますので、来訪者の方に一言、声をおかけして開閉に支障がないことを確認してから解錠操作をしてください。

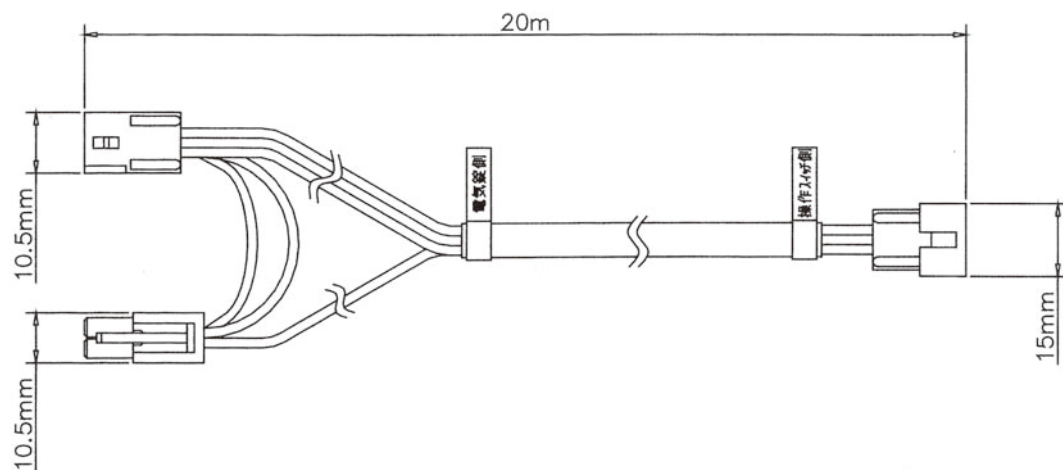
※詳しくは電動引戸システムの取扱い説明書をご覧ください。

外觀寸法図

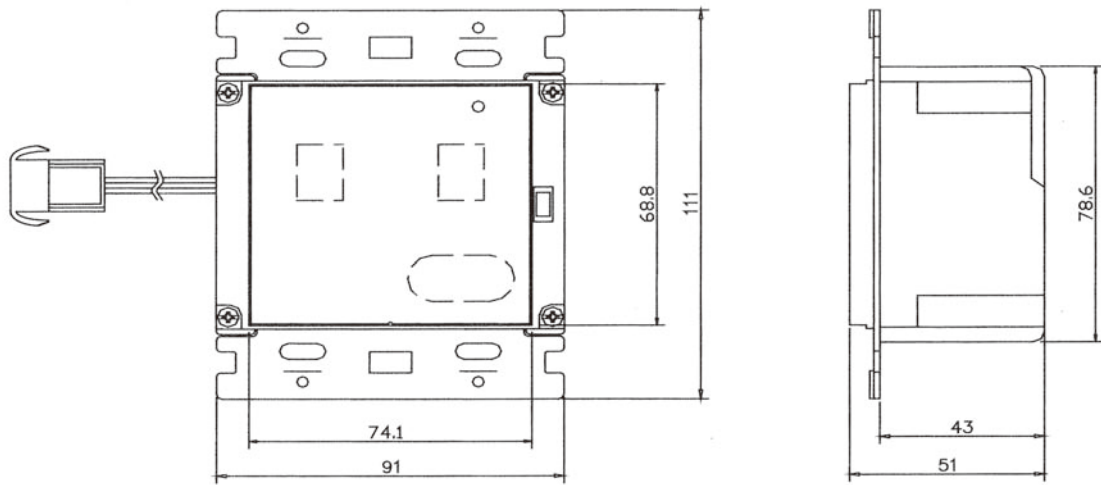
メインコントローラ



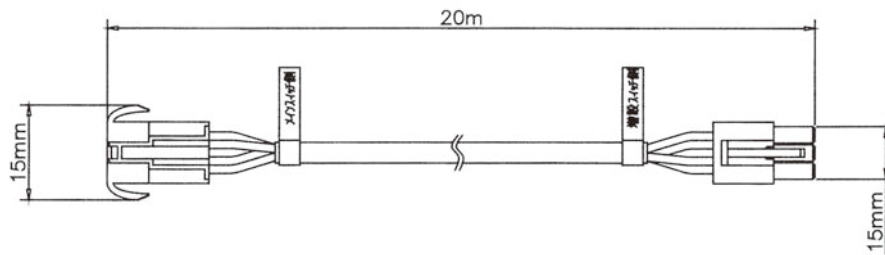
躯体内配線コード



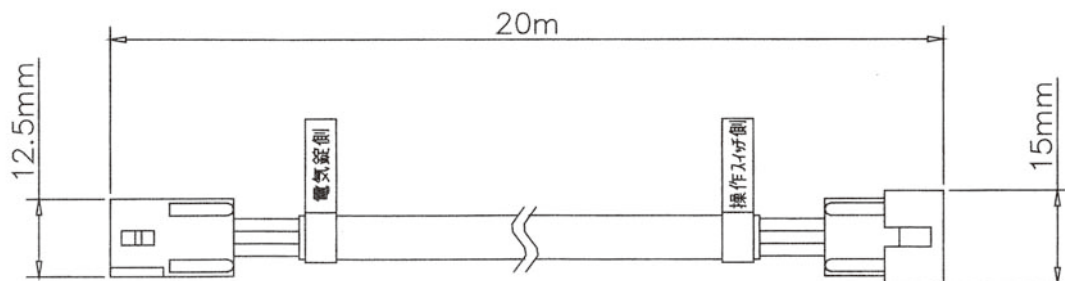
増設スイッチ (オプション部品)



増設コード (オプション部品)



延長コード (オプション部品)



定格

1

メインコントローラ

- 電源電圧：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：10.8W（最大）
- 配線数・通達距離：メインコントローラ — 電気錠 10線 0.3mm線で40mまで
：メインコントローラ — 増設スイッチ 5線 0.3mm線で40mまで
- 色調：本体 ミルキーホワイト
- 使用周囲温度範囲：-10℃～50℃
- 使用周囲湿度範囲：20～90%RH
- 使用範囲：一般家庭

2

電気錠リモコン受信器

仕様

名称	定格	
電源	電圧 DC12V	電源容量 0.5A 以上
モーター駆動信号	電圧 DC24V	電流 10mA
メイン錠解錠信号	電圧 DC24V	電流 100mA (max)
メイン錠施錠信号		
扉開閉信号		
リード線	L = 200m/m コネクタ付 AWG - 22 UL1007 耐熱ビニール電線	

3

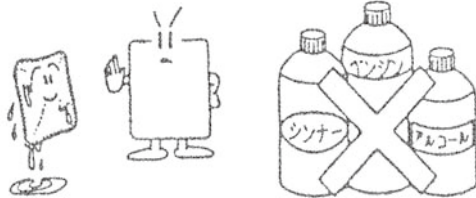
増設スイッチ（オプション部品）

- 色調：本体 ミルキーホワイト
- 使用周囲温度範囲：-10℃～50℃
- 使用周囲湿度範囲：20～90%RH
- 使用範囲：一般家庭

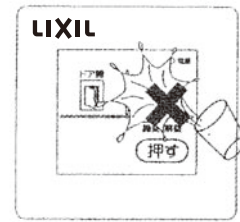
お手入れについて

お手入れするには

●外観の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にひたし、よくしぼってから拭いてください。シンナー、ベンジンなどの薬品は使用しないでください。機器の表面を傷めたり、変色の原因になります。



●機器には直接打ち水をあてないでください。



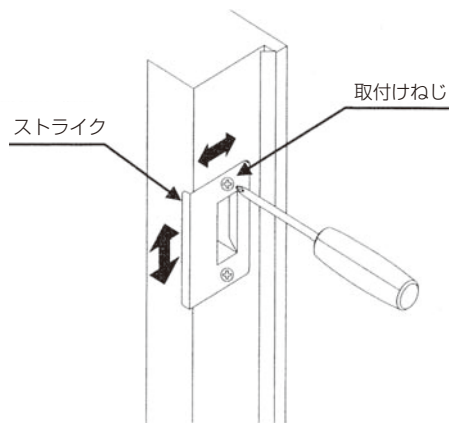
故障かな?と思ったら

現象	対処方法
メインコントローラの施錠／解錠ボタンを押しても解錠または施錠しない	メインコントローラの電源ランプが点灯しているかを確認してください。電源ランプが点灯していないときは ①電源を入れてください。 ②電源線が短絡している可能性があります。施工業者様にお問い合わせください。
扉が閉まっても施錠しない	原因として次のことが考えられます。 ①扉と枠の間に異物が挟まり、完全に閉じていない。 ②ストライクの穴に異物が詰まっている。 ③扉・枠の建付けが悪くなり、扉が完全に閉まらない。 ④ストライクの取付け位置が正しくない。 ※①および②の場合は、異物を取除いて、もう一度施錠してください。 ※③および④の場合は、施工業者にご依頼の上、不具合部位を修正してください。
電動サムターンのつまみを手で回すと固い（玄関ドアのみ）	建付けの狂いや電池切れにより電動サムターンの動きが途中で止まると、その場所で固くなります。ストライク調整や電池交換を行い、いちど電動で動かすとともに戻ります。
受信器から『ピッ音』が40回鳴り、施錠・解錠ができない	①受信器の電池がなくなっています。リモコンキー取扱説明書に従って新しい電池を入れてください。 ②リモコンキーが登録されていません。リモコンキー取扱説明書に従って登録してください。 ③建付けが狂って鍵がうまくかかっていません。P14の「ストライク調整方法」に従って枠または子扉のストライク（錠受け）を調整してください。

A. 玄関ドアの場合

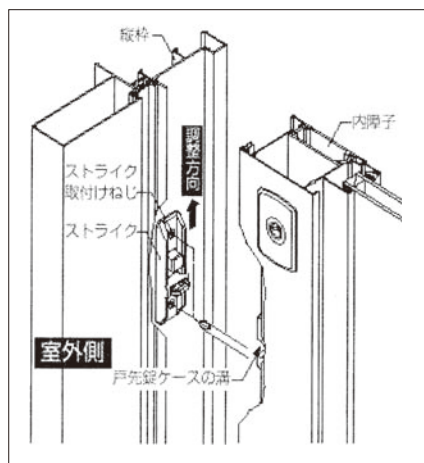
- 取付けねじをゆるめて上下前後に調整した後、ねじをしめ、固定してください。
- ※詳しい調整方法は枠の取付け説明書を参照してください。

※取付けねじは外さないでください。

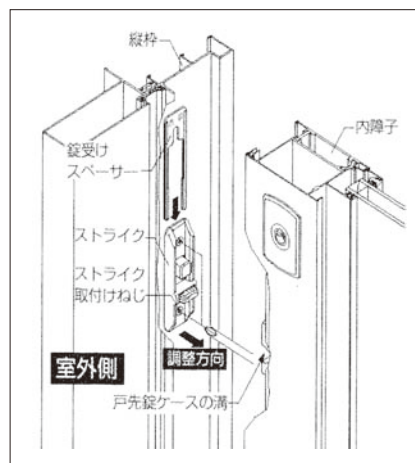


B. 玄関引戸の場合

- 上方向の調整
ねじをゆるめ、ストライクを上方向に調整してください。



- 出方向の調整
ねじをゆるめ、錠受けスペーサー（厚さ1mm、枠同梱）を枠とストライクの間に差込んでください。



※詳しい調整方法は枠の取付け説明書を参照してください。

アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、LIXILオフィシャルサイトの「**プライバシーポリシー**」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。）の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。電装系部品については製造打ち切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後2年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXILオフィシャルサイトよりご注文いただけます。
●LIXIL PARTS SHOP <https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ 対象商品 サッシ・ドア商品

■ 保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

*ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまる場合がありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。

不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合

(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)

②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合

(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合

④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合

⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合

(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)

⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象

(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)

⑧天災その他の不可抗力

(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合

⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合

⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合

(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)

⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合

⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001 FAX. 03-3638-8447

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117
-

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAH-565B	事業所コード ZPO7	2021.07.26発行
---------------	-------------	--------------

